

糸魚川駅周辺

ひめかわけいこく

・姫川溪谷地区

(新潟県糸魚川市)

- 計画期間 平成22年度～平成26年度
- 面積 1000ha
- 交付対象事業費 1,243.5百万円
- 市人口 43,352人 (地区内人口 16,056人)

ポイント 世界ジオパーク認定と北陸新幹線糸魚川駅開業を契機とした賑わい・交流づくり

地区概要 世界ジオパーク認定と新幹線開業の効果を享受できる基盤や仕組みを整えることにより、当該地区さらに当市全体の活力を高めることを目指す。

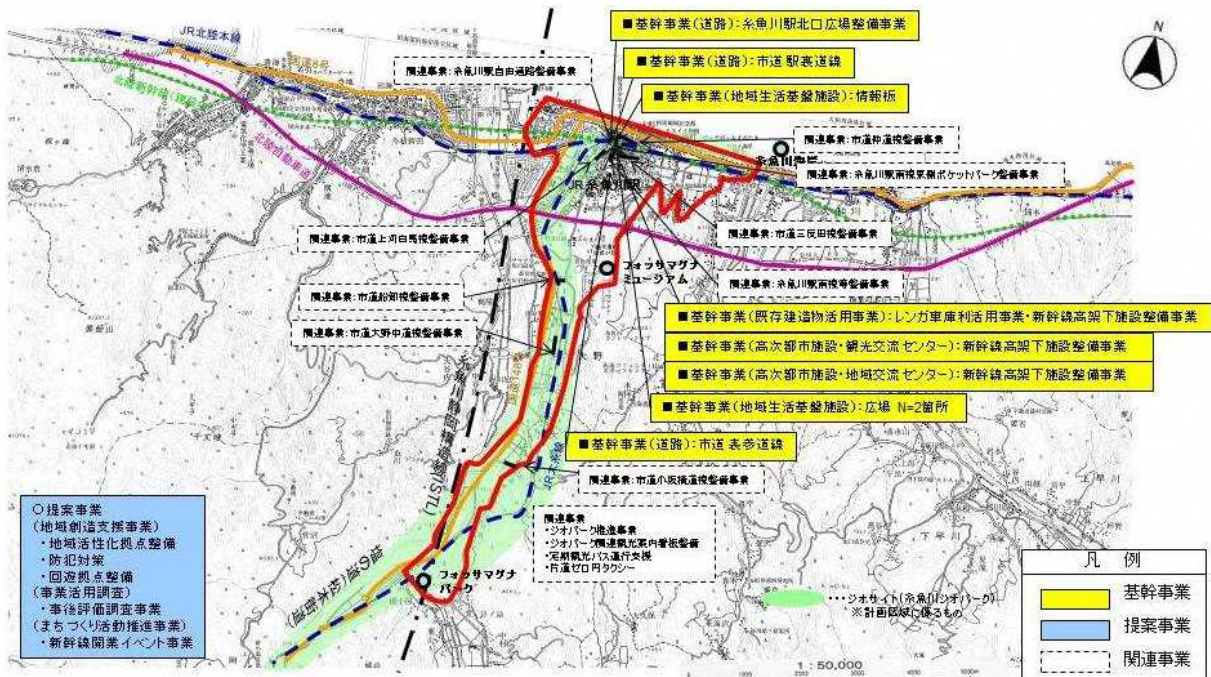
目標 「世界ジオパークのブランド活用により糸魚川駅周辺の魅力を高め、来訪者をもてなすまちづくり」、「市民や来訪者など誰もがスムーズに移動できるまちづくり」を進める。

指標 ジオサイトを活かしたまちづくりや利用しやすい駅前広場の整備により関連施設の入場者数、観光周遊コースの申込者数及び来訪者を受け入れるボランティアガイド数の増加を目指す。

フォッサマグナミュージアム	46,411	(H21)	→	58,000	(H26)
入館者数					
定期観光バス利用者数	679	(H21)	→	1,000	(H26)
観光ボランティアガイド数	21	(H21)	→	100	(H26)

事業内容

- 基幹事業 (1,131.9百万円) → 道路 (駅北口広場 2,100㎡、他2箇所 延長247m) 地域生活基盤施設 (情報板、広場2箇所)、高次都市施設 (観光交流センター450㎡、地域交流センター720㎡)、既存建造物活用事業 (レンガ車庫 430㎡)
- 提案事業 (111.6百万円) → 地域活性化拠点整備、防犯対策、回遊拠点整備、事業効果分析調査、新幹線開業イベント事業



地区の現況と課題

現況

当市は、地域資源をまちおこしにつなげる取り組みを精力的に進めてきたことが評価され、平成 21 年 8 月 22 日に日本初となる世界ジオパークの認定を受けた。また、平成 27 年春に北陸新幹線糸魚川駅開業を控え、観光事業等の推進や新たな地域産業の創出、広域交通体系の整備に継続的に取り組んでいる。

課題

世界ジオパーク認定と新幹線開業の効果をしっかり享受できる基盤と仕組みを整え、次の課題に対応する必要がある。

- ・来訪意欲をさらに向上させるための仕掛け不足
- ・駅部の交通結節機能の強化

提案事業の特徴

地域創造支援事業（地域活性化拠点整備）

新たに整備する北陸新幹線糸魚川駅高架下施設に、地域のジオラマと鉄道模型をテーマとした交流機能を付与し、市民や観光客の交流促進を図る。

地域創造支援事業（回遊拠点整備）

ポケットパークに列車を展示することにより、施設に特色を持たせ、駅周辺における回遊性を高める。

計画策定プロセス

これまでの計画と事業の実施

糸魚川市総合計画において、新幹線開業に向けた交通利便性の向上、商店街の整備、豊富な観光資源を活かした観光の振興などを施策として位置付けている。また、平成 18 年度からのまちづくり交付金事業（糸魚川駅北地区）において減少を続ける糸魚川駅周辺・中心商店街の歩行者数減少を最小限に抑えるよう地域の活性化を図ってきた。

これまでの経過をふまえ、新幹線開業に向けた準備、駅周辺中心市街地活性化の取組、世界ジオパーク認定の取組を有機的に結びつけ、事業を進めるために地区を設定し計画を策定した。

地元関係者からの要望等

レンガ車庫は地域固有の施設として市民団体の根強い保存運動があり、新幹線駅南口にその一部を再現することになった。



完成した北陸新幹線糸魚川駅と周辺(H27.3 現在)



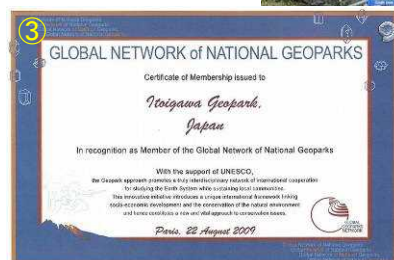
移築したレンガ車庫モニュメント(H27.3)



C12 を展示したポケットパーク



完成したジオラマ(H27.3)



- ①美山公園・博物館ジオサイト
フォッサマグナミュージアム
- ②糸魚川と塩の道（北部）ジオサイト 断層の露頭
- ③世界ジオパークネットワーク認定書